

慶良間諸島国立公園 ステップアップ プログラム2025

取り組み推進のための
ワークショップ

ニュースレター
Vol. 1

国立公園満喫プロジェクトの取り組みの一つである「ステップアッププログラム2025（以下、SUP2025）」を具体的に進めることを目的として、「地域がやりたいこと、できること」に焦点を当て、関係団体とともに、実現可能な実施内容の設定と役割分担を行うためのワークショップを開催しました。ここでは2025年までの期間で参加者が主体的・具体的に取り組むプログラムを検討していきます。第1回は、慶良間諸島国立公園の保全と持続可能な利用のため、各団体（または個人）が2025年までに取り組みたいこと、その課題について共有し、今年度取り組むことを検討しました。

第1回

慶良間諸島国立公園の魅力を高めるためにSUP2025のプログラム等で自分たちができることを考えよう！



開催概要

【渡嘉敷村】

日時：2022年11月9日（水）17:00～19:00

場所：渡嘉敷村役場 庁舎2階大会議室

参加者：地域関係者10名

【座間味村】

日時：2022年11月14日（月）15:00～17:00

場所：さんごゆんたく館 レクチャールーム

参加者：地域関係者6名

当日のプログラム（両村共通）

- 1 開会・挨拶
- 2 話題提供
慶良間諸島国立公園の現状の紹介
- 3 グループワーク
慶良間諸島国立公園の魅力を高めるためにできることを考えよう！
- 4 発表・全体意見交換



当日は各団体の実務担当の方にご参加いただき、渡嘉敷村では3グループ、座間味村では2グループに分かれて議論が行われました。

はじめに、各団体（または個人）が2025年までに取り組みたいこと（目標）や 実現に向けた課題、目標達成に向けてまず今年度取り組むことを出し合い、出された意見を見ながら、活発な意見交換を行いました。

グループワークの後半は、出された意見を表に整理し、グループごとに話し合いの結果を発表しました。



グループワークの成果@渡嘉敷村



取組内容	2025年の目標	実現に向けた課題など	今年度取り組むこと (次回ワークショップまでに)
受入環境整備	阿波連ビーチ入口の環境整備（駐車場の整備等）をしたい	保安林の解除 関係機関との調整	集落の役員会を開き議論するWS等を実施し、地域の声をまとめて関係機関へ相談する
	区の景観を整備したい 阿波連への道路脇の整備	個人宅の樹木が道路に飛び出ていることがある	個人宅へアプローチ、伐採メンバーを確保し実行する
	阿波連ビーチ入口付近の休憩所の整備をしたい	コンテナ街になっており、景観が良くない	行政と区民で景観がどうあるべきか会合する
受入態勢の充実	外国の方に向けた観光体制を構築し、海外からの修学旅行者や外国人観光客を誘客したい	外国人パンフを持たずに困っている人が多い 海外向けの情報発信のやり方がわからない	外国人観光客接客技術講座に積極的に参加して勉強する SNSの使い方、効果的な広報の仕方を勉強する
	歴史民俗資料館の利用者数を増やしたい	展示品の整理が必要	現在の展示品を専門家に見てもらいアドバイスをもらう
コンテンツの磨き上げ、体験メニューの多様化	荒天時の陸地での学習プログラムを提供したい	荒天時の学習プログラムがない	荒天時の陸地での学習プログラム実施場所や講師の依頼先の検討などを始める
	島から平和発信をしたい	語り部自体も、語り部になりたい人も少ない	島の語り部の方と勉強会を開催するため協議を行う
持続可能な利用の実現	密漁対策のため、遊漁者の利用ルールを作りたい	密漁者への注意は危険を伴う	利用ルールと周知方法を検討する
	海の資源の保護のため体験メニューを充実させたい	人がいない魚がそろわない	多様な漁業体験メニューを検討する
	無人島の立入ルール等を作りたい	自然環境が消費されてしまっている	入域者の実態調査を行う
	来訪者向けに海のルールづくりの手伝いをしたい	島外事業者の課題も多い どうやってルールを守ってもらうかが課題	ルール作りに向けて情報収集し、意見をとりまとめる
	海域（アリガーと野崎）の利用ルールを策定したい	那覇から来る事業者への連絡方法が分からない	まずは協会内で意見を共有しルール作りの検討を始める
その他	特産品のアンテナショップを作りたい 座間味村と協同で商品を作りたい	場所がない 管理する人がいない	役場と場所の選定について相談する（跡地や待合所等） 座間味村の関係者に相談する

グループワークの成果には、団体としての意見だけではなく、個人としての意見も含まれています。また、当日欠席された方には、個別に意見をお伺いし、その結果を反映しています（次頁も同様）。

グループワークの成果@座間味村



取組内容	2025年の目標	実現に向けた課題など	今年度取り組むこと (次回ワークショップまでに)
情報発信強化、デジタル化	不都合な情報を発信したい (飲食店の混雑状況など)	時間帯により混雑する、食事できる場所が少ないため夕食難民が出てしまう	観光協会、飲食店事業所会員の情報をネット配信 観光協会の案内マップに飲食店事業所会員の情報の追加を検討する
	島のルール・マナーを周知し、質の高い観光客を誘致したい	観光客のマナー違反行為に対して注意すると、トラブルになることもある	事業所等でPOPや島内の利用ルールやマナーをこれまで以上にわかりやすく情報発信する
受入態勢の充実	宿泊客を増やしたい	一泊二食付きの宿が減少 飲食店から宿への食事提供は断られたことがある	飲食店から宿への食事の外注について相談し、メニューと提供方法を検討
	各宿で情報共有ができるようにしたい	民宿経営者の高齢化・民宿事業所の協会のような団体が無い	民宿協会のような団体が作れないか検討する
持続可能な利用の実現	宿泊客を増やしたい 冬季の集客をUPしたい	地元の中でも観光客を増やすことについての意見が分かれている	村のPRビデオの作成(アフター5の座間味) 船の冬季割引料金の試行
	座間味村での認定ガイドの制度をつくりたい	海のルールが曖昧で、サンゴの破壊などの問題がある	まずは各団体でガイド認定制度の議論をはじめめる
	海域の共通ルールを明文化し、誰でも見られるようにしたい	エコツーリズム全体構想の見直し	まず自主ルールを確立し、他協会と共通ルールを検討する
	母子クジラのサンクチュアリエリアを作りたい	クジラが見つからないと母子クジラのウォッチングに頼ってしまう	探鯨を強化し、ウォッチング場所を分散させる
	海の利用ルールを整備したい	ヨットレース等のイベント時にトラブルが発生	他協会と協同でアンカリング禁止場所等のマップ・ルールを作成する
その他	6次産業化し、ケラマブランドの特産品を開発したい	遊休農地の活用	稼働できるように特産品加工センターを清掃する 商品を検討する

第2回ワークショップの開催予定

第1回ワークショップにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
第2回は、以下の日程で開催し、上記の目標に向けた参加者の取組成果や課題について話し合う予定です。

【渡嘉敷村】

日時：2023年 2/27(月) 17:00~19:00

会場：渡嘉敷村役場 庁舎2階大会議室

【座間味村】

日時：2023年 3/2(木) 15:10~17:10

会場：座間味コミュニティセンター

次回のプログラム(予定)

テーマ：2025年度の目標像達成に向けた継続的な取組について考えよう！

第1回WSの振り返り、今年度の取組結果報告
来年度以降取り組むプログラムと方策を考える

2025年の目標をより具体化していくため、
「利用者数を増やす」といった目標は、
数値目標も合わせてご検討をお願いいたします。
数値目標の例：現状○人→○人に増やす、
現状より %利用者を増やす等